

モーダルコネクト検討会について

人口減少、高齢化など社会経済情勢が大きく変化していく中、国民の日常生活や経済活動を支え、地域の活性化を果たしていくためには、その重要な基盤である道路ネットワークと多様な交通モードが、より一層の連携を高め、有機的な結合を図り、利用者が多様な交通を利用・選択しやすい環境を維持・向上していく必要がある。

このため、本検討会では、道路ネットワークやその空間を有効に活用しながら、交通モード間の接続を強化（モーダルコネクトの強化）するという観点から検討することを目的に設立するものである。

- | | | |
|----|-------|-------------------------|
| 座長 | 根本 敏則 | 一橋大学大学院教授 |
| 委員 | 加藤 博和 | 名古屋大学大学院准教授 |
| | 鈴木 春菜 | 山口大学大学院准教授 |
| | 鈴木 文彦 | 交通ジャーナリスト |
| | 若菜 千穂 | NPO法人いわて地域づくり支援センター常務理事 |

- 当面はバスを中心として、主に以下の視点から検討

1. 高速バスネットワークの強化のあり方

- ・ 高速道路上の高速バスの乗り換え強化（高速バス⇔高速バス）
- ・ 高速バスストップの有効活用（高速バス⇔乗用車等）
- ・ 鉄道等との乗り継ぎの強化（高速バス⇔鉄道、路線バス等） 等

2. 地域のバス利用環境の向上のあり方

- ・ バス待ち環境の改善（路線バス⇔歩行等）
- ・ 基幹路線バス停留所の高度化（路線バス⇔路線バス）
- ・ 道の駅の乗り継ぎ拠点化（路線バス⇔路線バス、デマンドバス等）
- ・ バス走行環境の改善 等

開催予定	主な議題
平成28年3月17日 ＜第1回＞	高速バスネットワークの強化について
＜第2回＞	地域のバス利用環境の向上について
＜第3回＞	検討会委員からのご意見について 等
＜第4回＞	中間とりまとめに向けた論点整理 等
平成28年夏頃 ＜第5回＞	中間とりまとめ
第6回～	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間とりまとめのフォローアップ ・ バス以外の視点からも含めたモーダルコネクトの検討